

令和8年2月10日

保護者の皆様

東京学芸大学附属大泉小学校  
校長 青山直志

## 令和7年度 学校評価アンケートの結果報告

日頃より、本校の教育活動についてご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

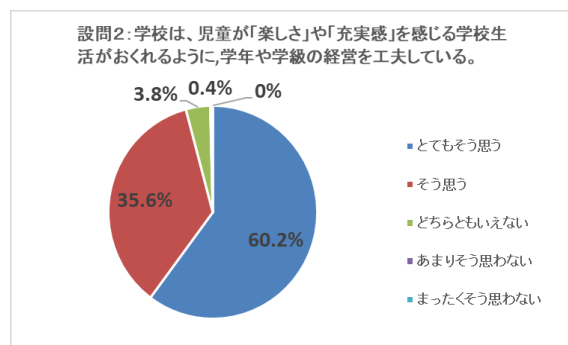
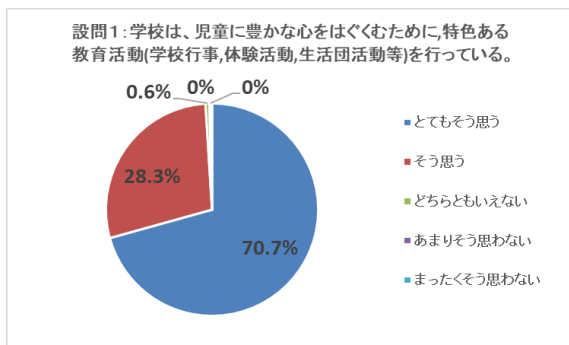
さて、「令和7年度学校評価アンケート」の結果についてご報告いたします。お忙しい中、多くの保護者の皆様にご協力をいただきまして、誠にありがとうございました。保護者の皆様から寄せられた本年度の学校教育活動についてのご意見を真摯に受け止め、その成果と課題を明らかにした上で、次年度以降の学校経営における取り組みに反映してまいります。

※アンケート実施期間：令和8年1月13日（火）～令和8年1月20日（火）

※アンケートの実施方式：大泉小web連絡システムのアンケート入力フォーム 5件法方式  
自由記述あり

※回答数（回答率）：保護者 505名（86.9%） ※昨年度（90.3%）

### I 学校の教育活動全般について

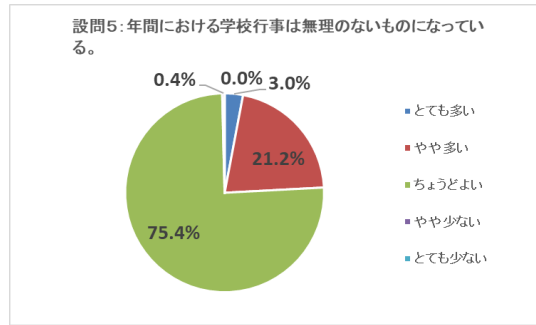
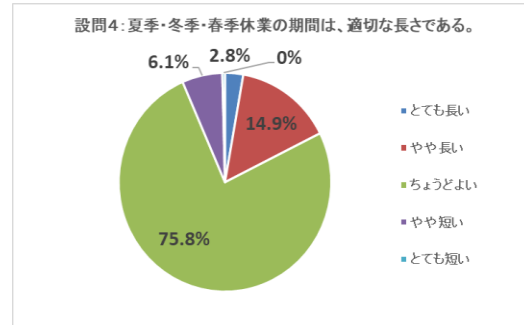
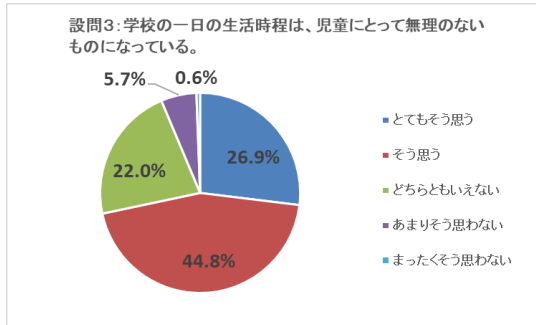


設問1は「とても思う」「思う」が合わせて99.0%（昨年度98.3%）、設問2は「とても思う」「思う」が合わせて95.8%（昨年度94.6%）でした。この結果から、本年度の教育活動について、概ねご理解とご賛同をいただいたと受け止めています。

設問1について、本年度の教育活動を立案するにあたり、「何を目的とした教育活動なのか」という原点に立ち戻り、教員間で議論を繰り返して時間や内容、取り組み方を決定し、豊かな体験活動を保証してまいりました。そのことにより、評価をいただいたものと考えております。

設問2について、各学年の教員（専科教員も含む）が工夫しながら、児童が居心地の良い学年・学級経営に努めてまいりました。本年度の学校経営の重点である「いじめ防止対策の充実」をより一層図ることで、児童が「楽しさ」や「充実感」、「居心地のよさ」を実感しながら、学校生活を過ごせるようになると考えております。今後も、御家庭と協力して子どもの気持ちを多角的に、より細やかに見取り、教育活動及び学年・学級経営を進めてまいります。

## Ⅱ 生活時程、年間行事の組み方等について

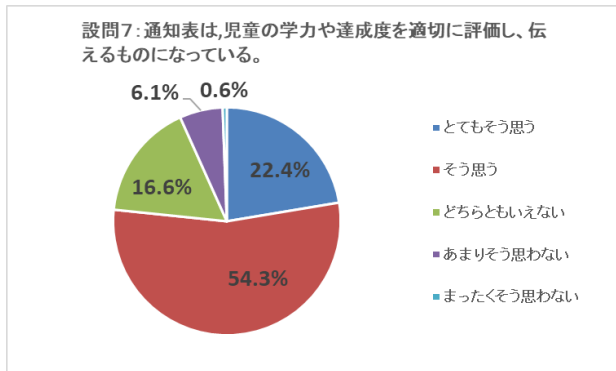
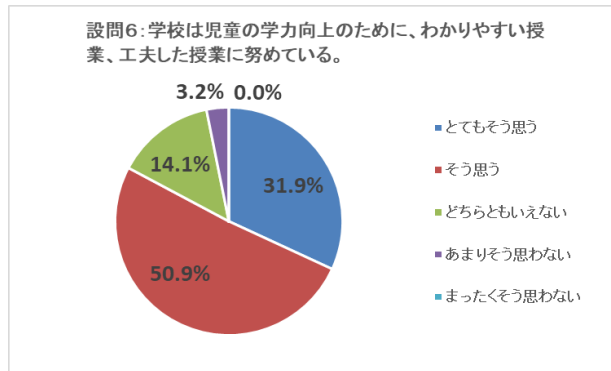


設問3については、「とても思う」「そう思う」が合わせて71.7%（昨年度78.4%）、「どちらともいえない」は22.0%（昨年度22.6%）でした。一方、「どちらともいえない」「あまり思わない」「まったくそう思わない」を合わせると28.3%（昨年度29.6%）となりました。本校の生活時程は、40分7時間授業を通常時程としていますが、概ね無理のないものになっていると受け止めています。その中で、保護者会や研究会などで、午後の時間割及びそれに伴う下校時刻に差がある点でややわかりにくさがあるためA・B・C時程を設定したり、5時間授業（保護者会）・6時間授業（教員の研究会）と原則化して複雑にならないようにしたりしています。さらに、本年度は外部の教育関係者限定で参加していただく研究会の際に特別な時程を設定しました。時程は下校時刻に関わるものであり、ややわかりにくいことがありますので、今回の結果を受け止め、保護者の皆様に、学校通信、学年通信（掲示板）を通して、さらにわかりやすく丁寧な時程連絡を心がけてまいります。

設問4については、「ちょうどよい」が75.8%（昨年度79.5%）、「とても長い」「やや長い」が合わせて17.7%（昨年度16.0%）でした。各学期の開始・終了は、公立小学校や他附属小を参考にしながら設定しております。夏季休業日の開始時期が公立小学校と比較して早くなっているのは、本校の教育活動の特色でもある臨海学校を海での水泳に適した気候の関係で夏季休業前半に5・6年生の設定しているためです。その分、2学期は8月下旬より開始しています。一方で、ここ数年の夏の暑さを考えると、熱中症の心配もあり、より配慮が必要になってきています。次年度も2学期開始の8月後半は、まだまだ暑さが予想されますので授業時間を変更するなど、慎重に対応してまいります。夏季・冬季休業期間を活かして個人の探究活動を進めていただければと考えます。また、夏季休業期間中の水泳指導についても本年度の酷暑のため実施基準に当てはまらず実施できなかったことから、検討を進めて参ります。

設問5については「ちょうどよい」が75.4%（昨年度79.0%）でした。また、「やや多い」が21.2%（昨年度19.3%）という結果になりました。「行事で子どもを育てる」という本校が大切にしてきた理念に賛同されて入学を希望されたご家庭もございます。一方で季節によっては、多忙感を感じている児童や保護者の様子もあることから、本年度は、活動の中で効率化できることがあれば積極的に取り入れるようにしました。本校は、PYP校として新たな歩みもしておりますので、今後も全教職員で本校の特色ある行事の継続・その取り組み方の改善についてさらに検討してまいります。

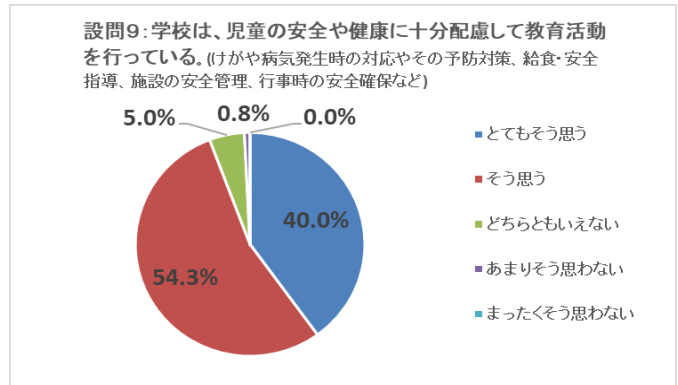
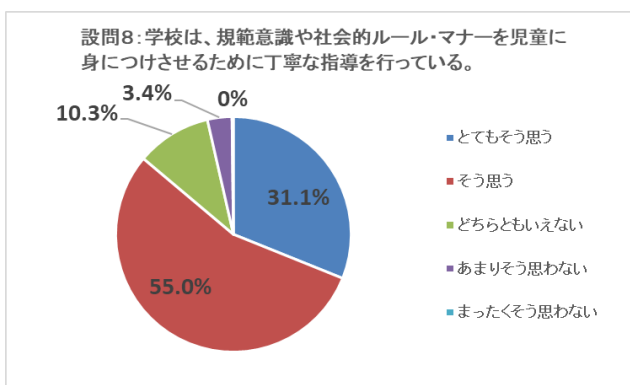
### Ⅲ 学習指導、及び評価について



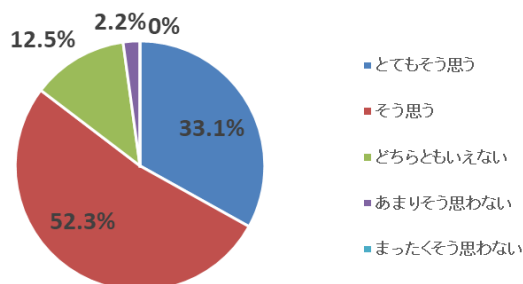
設問6は、「とてもそう思う」「そう思う」が合わせて82.8%（昨年度83.9%）でした。「どちらともいえない」「あまりそう思わない」「まったくそう思わない」が合わせて17.3%（昨年度16.1%）という結果となりました。本年度も、教員間で日常的に授業を公開する「授業を見合う会」を実施したり、校内研究として探究ユニットの取り組みを進めたりしました。さらには日常的な授業研究を他校にも広く公開するなど、学校外の指導者からも助言を受けて指導力の向上に努めてまいりました。その成果として、1月24日（土）には研究発表会を開催することができました。また、保護者の皆様にも、授業参観でお子様の様子をご覧いただくなどしました。今後も教員全体が児童や保護者の皆様の声を真摯に受け止め、児童の学力向上を目指して授業改善に努めます。さらに、保護者の皆様はその「成果」を見ていただくことがより一層重要であることから、次年度の授業参観にもぜひお越しください。

設問7については、「とてもそう思う」「そう思う」が合わせて76.7%（昨年度80.1%）でした。「どちらともいえない」が16.6%（昨年度15.1%）「あまりそう思わない」「まったくそう思わない」が合わせて6.7%（昨年度4.8%）でとなりました。通知表「きくの子通信」については、事前に保護者会でその読み取り方等をお知らせして、結果・課題のみならず、子どもたちに今後の意欲を持たせることができるようにしています。本年度はPYP校として、1・2学期終了後に個人面談を実施する中で児童の学習の様子（総合所見）をお伝えしました。また、お子様がどのような探究活動をしたのか、子どもが自分の言葉で語る場として三者面談の形式で取り組みました。この取り組みには「子どもの発表の様子から学びの成長を感じた」という肯定的な感想を多数いただいております。一方で「あまりそう思わない」「まったくそう思わない」というお声もありますので、今後も、校内で検討を加えて、適切な評価はもとより、児童や保護者の皆様に分かりやすく伝えることができるよう努めてまいります。さらには、PYP校として望ましい通知表の検討もすすめてまいります。

### Ⅳ 生活指導、心のケア等について



設問10: 学校は、児童理解に努め、児童同士のもめごとや保護者の悩み・心配事などの相談に、的確に対応している。



設問8は「とてもそう思う」「そう思う」が合わせて86.1%（昨年度86.3%）、設問9は「とてもそう思う」「そう思う」が合わせて94.3%（昨年度92.4%）、設問10は「とてもそう思う」「そう思う」が合わせて85.4%（昨年度81.5%）でした。

設問8について、学校、学級におけるルールは、単にルールを知ることではなく、なぜそのルールなのかを正しく理解することで子どもたちの活動が充実します。また、ルールを保った集団生活は、「相手を思いやる心」「わかちあう心」を醸成することにつながります。本年度、本校では、「廊下歩行（廊下を走らない）」「登下校のマナー」について重点的に指導してまいりました。「廊下を走ることによっての危険」について、生活集会での全体指導及び学級指導や校内放送などを通じて、また、廊下を走る様子を見つけ、その場での教師の指導を重ねております。最近は児童同士で「走ったらだめだよ！」「歩いて！」という声も聞かれており、良い状況に向かってはありますが、落ち着いた生活を維持するよう努めてまいります。

登下校時のルール・マナーは、電車やバスの車内での様子（走り回る・席を奪い合う・騒がしいなど）について、地域の方から厳しい声をいただくことが本年度も度々ございました。しっかりとした態度で登下校できる子どもも多くいるのですが、ご指摘いただく状況は、「集団での様子」が原因で起きていることが多いです。そこで、本年度も生活集会、ブロック集会で、教師が重点的に指導したり、子どもたちが自ら安全についてマナーについて話し合ったり機会を増やしました。また、PTA 校外生活委員会の保護者の皆様による放課後の校外パトロールもありがとうございます。今後も児童の安全・マナーについて全教職員で指導しますので、ご家庭でもお子様の登下校指導へのご協力を重ねてお願いいたします。

毎年触れておりますが、タブレットなど ICT 機器もルール・マナーあつての利用です。本校の SNS ルールは、「人の気持ちを傷つけることをしない」という大切な心の約束をもとにしています。本年度も5・6年生を対象に外部講師をお招きして「SNS 利用講習会」を開催して、SNS に潜む危険性や正しく使うための方法について学びました。今後とも、児童の利用状況を見ながら、課題に取り組んでまいります。ご家庭におかれましても、家庭での約束事をお子様とともに設定していただき、安全に楽しく使用できるようご協力をお願いいたします。特に利用する時間帯の約束事をお願いいたします。

設問9について、本校では、日常の学校生活、学校行事での安全対策（避難訓練）、日常的、定期的な安全点検、給食のアレルギー対応等、子どもたちの健康と安全の確保に努めております。また、インフルエンザ等の感染症の罹患状況がある場合は、これ以上の感染を防ぐために、生活団清掃などの異学年での交流は臨時的に避けております。今後も児童が安心して学校生活を送ることができるように健康安全を第1に考えてまいります。ご家庭でもあらためて、正しい手洗い・うがい等の指導をお願いいたします。

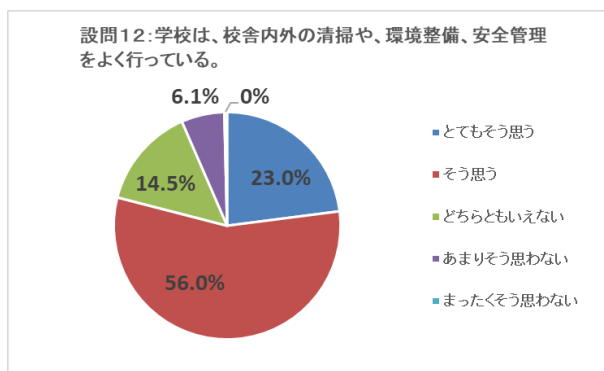
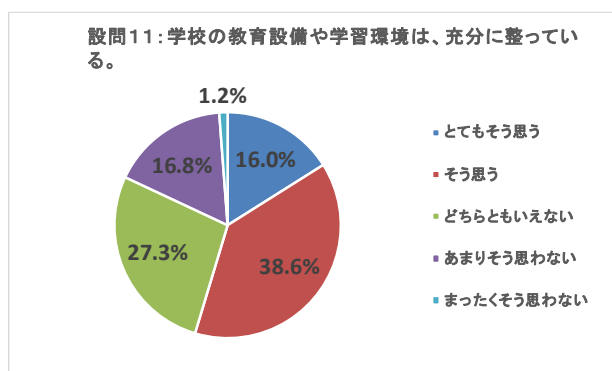
設問10について、「とてもそう思う」「そう思う」が合わせて85.4%（昨年度81.5%）となりました。本年度も、「いじめ防止対策」について教職員での話し合い、教育相談研修を繰り返しました。また、毎週、教師の打ち合わせ会で、学年・学級の状況を共有する場を設定しております。さらには、子ども達にも弁護士など法律の専門家を招いて、人権に対する意識を高める学習をすることも継続しています。毎月1回開催している「人権教育にかかわ

る集会（人権集会）」では、学級のみならず、テーマを設定して異年齢集団の生活団で話し合っています。このことは、子どもたちの心を揺さぶり、自分事として真に考える機会になったことを子どもの感想からも感じております。児童やご家庭の相談窓口のひとつである、スクールカウンセラー相談日（すこやか相談日）は、多くの児童・保護者に活用していただいております。さらには、大学のスクールソーシャルワーカー（SSW）にもご意見をいただき課題解決を図るよう努めています。

今後も、御心配なことがある場合は個人面談の時期だけではなく、いつでも担任だけでなく他の教員でも構いませんのでお声がけ下さい。相談の垣根を低くするために、QRコードを使って簡単に予約ができるようにしております。今後も諸問題の未然防止や早期発見ができるよう努めてまいります。また、児童同士のトラブルが保護者のトラブルにならないように、さらには、大人が児童同士の問題をつくってしまわないように、ご協力をお願いいたします。

また、過日 web 連絡システムでお知らせしました、令和7年度 第1回 学校のいじめ問題等対応に関するアンケートへのご協力もお願いいたします。

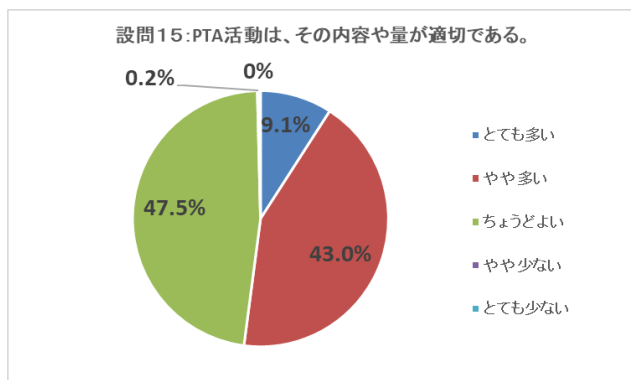
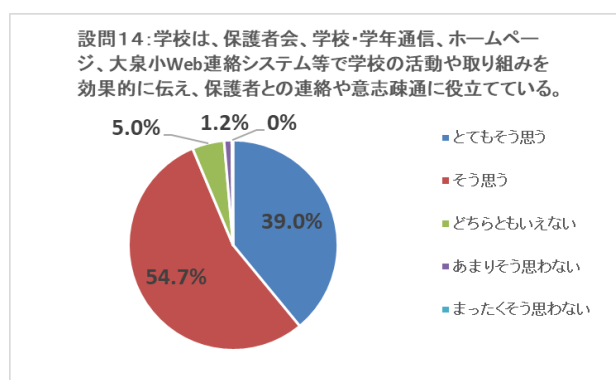
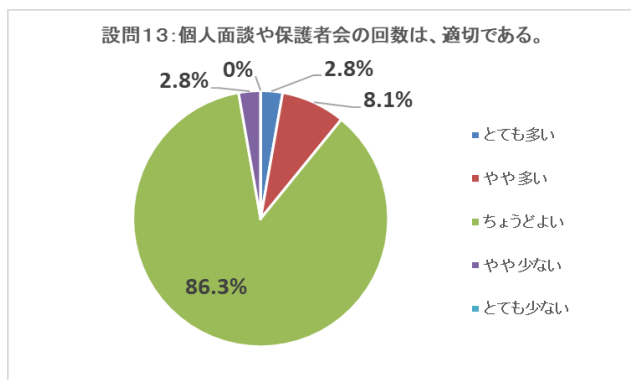
## V 教育設備・環境、学校整備について



設問11については「とてもそう思う」「そう思う」が合わせて54.6%（昨年度58.7%）で、「どちらともいえない」27.3%（昨年度25.8%）でした。また、「あまりそう思わない」については、16.8%（昨年度13.8%）となっています。設問11の回答として昨年度と変わらず6割を下回る結果となりました。この設問11「教育施設・環境・学習環境」については自由記述でもご意見が複数寄せられております。本校の教育環境においては、優先順位を定めて、予算案を立案して、支出の関係から、学校で解決できる内容、大学に要望する内容に分けております。修繕にも費用がかかり、物価高騰を受けて全て修繕・整備するには難しい状況です。教育環境整備は子どもたちのためでもありますので、今後も大学への要望、菊泉会（寄付金）や泉友会にものご協力いただきながら進めてまいります。なお、次年度は体育館のエアコン設置が決定しております。工事等で子ども達の教育活動にできるだけ支障のないようにしてまいります。

設問12については、「とてもそう思う」「そう思う」が合わせて79.0%（昨年度75.5%）で、「どちらともいえない」が14.5%（昨年度18.4%）でした。本校では、日常的に児童の生活団や教職員で清掃活動をしており、教職員で安全点検を行っています。安全点検で課題となった箇所は緊急度に合わせて修繕等を行っています。清掃面では、PTA 環境整備委員会を中心に、全校清掃を企画して、多くの保護者にご参加いただいて校内を隅々まできれいにさせていただきました。ありがとうございました。児童の生活団による清掃活動も欠かせませんが、今後も、校舎内整備活動を計画的に行い、「もっときれいな学校」になるよう、校内設備の充実や、維持向上をしてまいります。

## VI 家庭と学校との連絡、PTA活動について



設問13については、「ちょうどよい」86.3%（昨年度 86.0%）でした。本年度は、従来の個人面談、保護者会に加え1学期末オンラインでの個人面談を設定しました。学校行事等でも学校に足を運ぶ機会が多い本校ですが、概ねよい評価をいただいたことが分かりました。2学期の個人面談は、三者面談として実施しました。面談内でのお子様の探究プログラムの学びの発表という取り組みは、保護者の皆様にも一定の評価していただいております。また、授業参観の機会を設定してお子様の学習や生活の様子、担任の授業についても知る機会としました。教科学習だけでなく、全学級で「道徳」の授業を公開する授業参観や「探究ユニット」の内容も積極的に授業参観で公開いたしました。「探究ユニット」はその学びの過程で、日頃より保護者の皆様からのコメントもいただいております。ありがとうございます。

設問14については、「とてもそう思う」「そう思う」が合わせて93.7%（昨年度 92.8%）でした。本校のホームページでは、これまでの教育活動の特色に加えて、IB バカロレア PYP 認定校としての詳細（探究ユニットの紹介）を定期的に更新しております。ホームページは、本校の関係者のみならず、教育関係者や本校に関心がある世界中の方々にも見ていただいております。保護者専用ページも活用しながら、今後も本学の「学校 web ページ運用規定」に沿って、更新をこまめに行ってまいりますので、感想をお聞かせいただければ幸いです。さらに、「大泉小 Web 連絡システム」は、各学年掲示板、児童の欠席連絡等、アンケート機能など、学校と児童や保護者を結ぶ大切な役割を果たしました。資料も添付することができるのがよさの一つでもあります。遠足や移動教室の現地での活動をタイムリーに発信することも実証的に取り組みながら、今後もさらなる活用の充実を図って参りたいと考えております。保護者の皆様には、欠席連絡の確実な入力を重ねてお願いいたします。

また、学年通信は、特に探究ユニットの進行状況をわかりやすくお伝えすることとしております。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

設問15については、「ちょうどよい」47.5%（昨年度 45.5%）、「とても多い」「やや多い」が合わせて52.1%（昨年度 54.5%）でした。学校としては、各常置委員会の日常的な取り組みに加えて、各行事においても皆様にご協力いただい

おりまして、とても感謝しております。さらに今年は、新しく校外下校パトロールにも取り組んでいただいております、重ねて御礼申し上げます。

「PTA 活動を通して、子育てについて情報交換する機会になってよかった」「子どもたちの学校生活の様子を学校行事以外でも知ることができる」というお声もいただいております。一方で、52%の方から「やや多い」「とても多い」というご意見もございます。常置委員会の活動では、負担の軽減化のために効率的に活動できるような工夫にも取り組んでいただいておりますが、今後も PTA 運営委員会の皆様と協議しながら、PTA 活動が保護者の皆様の過重な負担にならないようしたり、保護者の皆様のコミュニティーが広がるよさをより実感していただけるように努めたりしてまいります。

最後になりますが、本アンケートでは、I からVIごとに自由記述の欄を設定して、ご意見をいただきました。それぞれに触れることは紙面の関係でできませんが、いただいた貴重な感想・ご意見をもとに今後の学校運営に活かしてまいります。令和7年度学校評価アンケートにご協力いただきありがとうございました。